

当時の気象状況は、前線が東日本から西日本に停滞。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいるため、大気の状態が非常に不安定となり、前線の活動が活発化。このため、東日本から西日本では記録的な大雨となり各地に甚大な被害をもたらした。



4. 大阪府大隊の活動概要

7月7日：広島市安芸区、広島県安芸郡及び東広島市にて活動

東広島市河内町中河内において、37歳男性1名救出(心肺停止)

7月8日：広島市安芸区、広島県安芸郡及び東広島市にて活動

安芸郡熊野町川角:44歳女性1名救出(心肺停止)

東広島市西条町下三永において、男性1名救出(心肺停止)

東広島市河内町下河内付近において、57歳男性1名救出(ヘリにて救出)

7月9日：広島市安芸区、広島県安芸郡及び東広島市にて活動

安芸郡熊野町川角において、女性1名、男性2名救出(3名心肺停止)

安芸区矢野東7丁目において、女性1名救出完了(心肺停止)

安芸区上瀬野町において、30代女性救出完了(心肺停止)

東広島市河内町中河内において、64歳女性1名、男性1名救出(2名心肺停止)

東広島市志和町別府付近において、54歳女性1名救出(ヘリにて救出・軽症)

7月10日～12日：広島市安芸区及び広島県安芸郡にて活動

安芸郡熊野町川角(12日)において、13歳男性、2歳男児救出(2名心肺停止)

7月13日～17日：広島市安芸区にて活動

7月18日～19日：広島市安芸区及び広島県安芸郡にて活動

7月20日～7月31日：広島県安芸郡にて活動

8月1日：高度専門教育訓練センターにて

解隊式実施

合計 生存者2名(男性1名、女性1名)、死者12名(男性7名、女性5名)救出

5. 広島県の被害状況 (平成30年8月13日現在)

(1)人的被害

死亡 108名、行方不明 6名、重傷 36名、軽傷 91名 合計241名

(2)住家被害

全壊 1,029件、半壊 2,888件、一部損壊 1,898件、床上浸水 2,926件、床下浸水 5,009件 合計 13,750件

(3)土砂災害及び浸水被害

土砂災害発生箇所 624箇所(詳細調査中)、破堤した河川 12河川、越水した河川 82河川